

動植名彙

二

海
二利 |
1275
2



大五共 差祢乃民 枝五味子 名蒨アナツラ 和玉芝又

蒨又遂 長五味子 都良 佐祢加

カサモチ・サムホソラシ
ヨロヒクサ
サハウト・ス云・ニ口サク
又ホウ・一名サハツ

本和上廿六 藁本 加佐毛知一名 名芝 又ホウ・一名サハツ

和藁本 佐波曾良之 医蒿本 スツラシ 和傳

カサモチ・サムホソラシ
ヨロヒクサ
サハウト・ス云・ニ口サク
又ホウ・一名サハツ

本和上廿七 白芷 加佐毛知一名 佐波宇止 名芝 又ホウ・一名サハツ

又ホウ一名サハツラシ 和傳加白芷 佐波宇止又佐波保曾良之

カサモチ・サムホソラシ
ヨロヒクサ
サハウト・ス云・ニ口サク
又ホウ・一名サハツ

本和上三十二 澤蘭 佐波阿良岐一名 澤蘭 アハラキ

万十九 澤蘭 一株板取云々

ささるわらわら ささるしノ糸ニ見タリ
ささるとり サルトリイハラ、オホウハラ、ヤマサラシ
ウクヒスノサルカキ、ノツラシ

字抜葵 乃曾良之一云 又筋 左苗加支 和抜葵 佐流止里一云

字波 本和上廿九 抜葵 字久比頃乃佐苗加岐一名 林節 荆

茨 サルトリイハラ 名抜葵 サルトリイハラ 蔓荆 ノギハヒ・ナアエ

ルト 和傳加

近江御息所歌合 佐理卿業 ささるとりの花 あく石之をあはるる花

ささるわらわら ささるしノ糸ニ見タリ

ささるわらわら 同上

和松蘿 万豆乃古介一云 佐苗子加世

名松蘿 サカサエケ・サルラカ

本和上 五十九

藻八廿九 苔

さるふり

夫猿滑

サルスヘリ 歎

さきくち サキクナ ミノハ

サキくち

本和上 廿四 薺花

美乃岐 一名

和薺花

佐木久佐奈

和傳薺

花 佐支久佐美乃取久佐

伊字 同

名薺花

サキクナ

さきくち

名薺

サキクナ

藻八五

和玉薺

林節薺

サキクナ

伊字薺

サキクナ 草名也 薺草

福草 同

古

一乃五廿九

さ紀草の中をぬくと 畧

支

和玉薺

さきくち

藻八廿七

泉

さく ミクサ

みくち

本和上 廿五

沙美久利

一名

字薺

女居及 猪薺 薺劇也 名薺ハ

ウト、又ム、ニロサク、又オラ

さく ミクサ

かのみけ

さく ミクサ

名藻豆 サクツ

さく ミクサ

和傳白豆 佐々支

さく ミクサ

本和下 四十四 白角豆

医 白角豆

さこむめ サホト

大五三 差保比免 拔華ニ地黄 少彦遺法 佐古比咩 地黄

さこく

六帖 物名 毛をひきてきのおとあつをひきみとり各にけさく
那とねあつより又若るあよとめをゆかり 花はけさくハ
りあえくささちうり

さこひめ さこひめノ条ニ見ユ

さかゆり ゆりノ条ニ見ユ

さかりこけ さかるとせノ条ニ見ユ

さかとりくけ

大世三 卑九

さきみ ——りき——

和蘭 左岐乃志 利佐之

ぬノ条参考スヘシ

さきふ

字鞠菊 ニ上字 左支奈

さきらひ かあさひノ条ニ見ユ

させもろ さしもろノ条ニ見ユ

さいたつま

後拾遺 下春 三月のうり又那のまをいふはうり 友系義孝 那と見
れい活生月のをとまをてあくうちとあきさひつよ能国哥枕
まをいさあつやもいふは後ろまも玉葉集 春 卷盤并春
那とまをいさあきさつよまは後ろまもいふ人かあき 童
蒙抄を方のあまをとり夫せ初保さつよまをいさあきり
——とあ——のまをさすきほよゆり 喜撰和歌式さす

つよ田ふ草葉よおとろくし詠若草時さつまつまとりよ
 万代集 春忠度 さつまつまとりよみりのあこく
 老よさすあこく 大木五忠度 六百番奇合残春 左有家
 らららき青の葉ささのささのまよまよもく城よらるの長唄
 山家記 まれよわらへ娘の女あゝの道よあふ入れてゆゑよ
 ぞらあら葉莫ふとやうのあつとろくちよあふぬまのあ
 やーまよと名もゆるしとて何よまよあふがまあられさつまつま
 あとつとろくちよあふたるともおう奇あにほむゆのあを
 とたつとろくちよあふたるともおう奇あにほむゆのあを
 神中 顕昭の説 故堀川源九府以浅青朽葉色号佐伊多津
 下云 同人和奇色葉集 本草 東風菜 サイツツ 先春而生故
 名草高二三尺葉似杏葉而長綺語抄さつまつまとりよ

くあひ出とら草の名あり
 何云古奇共ヲ以考フルニサイタクツハ春草ノ中ニ生タチノオソキ草トキユエリ後
 拾遺ニ九義孝ノ奇六百番ノ有家ノ奇ニテ殊ニヨクシラレタリコニ引出タル童蒙抄ノ
 諸説ニテ春草ゴトクハハヤカニカハス推量ノ説トキユエリ山家集ニイヘル趣
 若菜ニシニハタル由ニバ春ノ諸草ニイタクオクシテ生出ルモノニハアラテ生ニテオソ
 ク三月ノハテカタニ及テモナホウラ若クテアルハハ浅青ノ朽葉色ヲ佐伊多
 津ノ氏フ由ニヨリ野草ノ中ニテ尋子ヲフニ知えんべきニ本草ニ見エる東風菜ヲ
 カナハヌコナリ

さいかい

藻八四三 皂角 下學集 下西海子 子以可洗馬

さゆり けりノ糸ニ見エ

さうい

古六帖 さつまつまとりよあけさつまつまとりよ花のまをあつまの
 つよ田ふ草葉よおとろくし詠若草時さつまつまとりよ
 さつまつまとりよ

和傳木香 於播磨國採之
 佐字毛久佐
 さくらり おろら糸見工
 さきのさくら おろら糸見工

志行

さくら カハラヨモキ一四十八
 藻八 シロヨモキノラヨモキ
 長白蒿 之目子
 和玉蒿 又
 和傳白蒿 ノラヨモキ又カハラヨモキ
 名白蒿 カハラヨモキ一云
 伊字白蒿
 大五世 之呂末女同六十二十七同
 大九十五九十一 之路奈万女
 さくら さくら三丁糸見工
 さくら 今不志海ありめの

和白苾宇利之路 伊字白瓜シロウリ 女臂同 和傳越氏シロウリ
林節越氏

志ろやちの徳 石まき王糸見立

志ろきあも

本和下四三 白梁米之呂波 阿波 和傳同

志ろひり

和傳加 疾梨子

志らよとさ、 志ろよき糸見立

志らひゆ

大五十九 之良比申

志ろくち ころも一々三糸参考奇

大三十四四十六 之良久知 狛猴桃

志らくち

字道 志良久知 名味シラクチ

志らみち

あまき王糸

志くじ

藻八四十五耳草

順集あまのののねりまてしに秋志るに志まよきのが
女郎花刈萱撫子秋ふと極まゆるい
志一のひたいくさフアツミウシノヒタヒクサ

本和上共 石龍芮一名布加都美 和傳石竜芮ヒタヒ

各ウシノヒタヒクサ 字石竜芮 字之乃比多比
ウシノヒタヒフカツミ 又云不加豆比

志一のくいのきヤマウハラ

本和上平 菰蘆也末宇波良一名 和菰蘆夜末宇波良

八 乃之比乃岐

杉匡 也亦久佐 大五七下也万無波良同世三甲也亦波良

志一しあり

徒然草 草 鷹ノ鳥ヲ木枝ニ 枝のまき多けつてさくら木の別
らぬまに二折付下一版のまきりひらち羽のまきよをてたてて
牛の角此やうまをいひ
志のふくけり 枕三廿五

六帖 志のふくけり ひらりのまふあやのほりれい金をさすの
のらきき生る又いひとまふかの志のふくけり
まきよはひらちまふまふ出る和泉式部集人のまきよはれ草ま

藻ハ廿八 忍草 名鳥莊 シノフ

志の結 本和上甲 羊蹄 志乃祿 伊字長間笈
羊蹄又姜根シノネ 和玉遠 シノネ カキクケ

和傳茅根 シノネ 根子 名芒 シノネ

志のたけ 和條 之乃一云佐々俗甲 字葉 方標及平行也細竹也條
少竹二字謂之佐々 也志乃又保曾太介
和玉後又 蓋又條シノ夫 シノフ
万七可九 姑 うりとまふ通海の條すまきと解かふまふいけ條まら

五廿八 之母布利

志をのけ

枕三芒

拾遺物 志をのけ

枕 くさる君 志をのけ花の名をかきしめし

のあや ささ夫九夏三夏草為家 友の志のあけさ甲の志あけさ

ろのや あのことやとよ海 統拾遺 物名志をのけ 崇徳院

つはの いあくとらささま 志をのけの 志をひそる

藻八光下野

志をのけ

本和下 志 仙沼子 都岐

伊字仙沼子 シタツキ

内膳式古

附

志をのけ

五十八 年六 之多美加波

志をのけ

名草 シタツキ

志をのけ

林節 齒采 運疎

志をのけ

本和上 志

紫苑乃之

和紫苑

能之俗云 之平近

名紫苑 乃之又云

六帖 志をのけ

秋の野 の草は紫苑人もおろき 志をのけ

足え 海を 又 切リ 志をのけ 志をのけ

いふ 志をのけ 志をのけ 古今物名 志をのけ

志をのけ 志をのけ 志をのけ 志をのけ

伊勢集

土

志をたけ

類往芝草 六タケ 林節芝草 六タケ

志をよみ

名藤 六ノ子

志をくも

大六三十九 之波美久佐

志かみ

大六十九 之加美久佐

志のあさ

教長集都もも咲白くも麻のあく名よあふま秋の山里

志こし

大四七 五十二 之古久差

志のあーこし

万四平ゆきをせしめし下初もふはをくれと志のあーこし
事ありありなり 志こしは同物致すおのこをとりし

夫木三俊頼ひくまのよきそほりて本つるまつるやうそ
鬼のーこし

志りく

万十潮草 文在草知草 人皆知吾裏念

和蘭 言各和名為辨色 之の踏馬尻刺 志りくまよりーしり子似たり

志あぢ

類往ト治シメテ 林節ト治シメ

志ちく

和玉簪

七之

聖菊

名菘 ハヒノユニ
コケシヘ

伊字菘 花心

須行

とらまろく

本和上三 天門冬 須末呂 久佐 字天門冬 須万呂 久佐 大五四

須末路和天門冬 須末呂 久佐 藻八四三 天門冬

林節天門冬 スラロクナ 伊字天門冬 スマロクナ

とらまろく とやむとくさ三
かよ一五十五

加茂保憲女集すまひまはてう瓜よあまら あまをさくら

んさくめあさよ代 赤染集二世三

金葉 連歌 すまひの所とよ草の多うり

らるをり とらまろく 順集哥合判哥

言葉 いとく 物 を ちける 夫木

とらまろく 杖のまらきの あまをさくら

由

又
り
子
女
の
言
の
厚
の
ま
よ
ひ
と
ら
あ
ま
よ
う
の
の
こ
い

字施覆花 源方比久佐本草云 林節 白慈草

澤八世八 白慈草 夫白慈草

公事根源上十五

林節 薔薇ツシタツ 参考スヘシ

大五十九須 免無支和玉翁

和傳雀麥 源無支又 加良源无支

和傳雀麥 源無支又 加良源无支

名道 ス、ツリ、ミラ、ミラ、ミラ、 つちをけりる各参考スヘシ

万世 ハタスキ 同八五十四 同八四七 ハタスキ 同十世 此訓ニ酢菜ノ用言トキニ下ノハタスキ 各合見ルニ

帖付 おき、おき、おき、おき、おき、 秋のつゆふん伊字薄花

秋のつゆふん 伊字薄花 芋蕩 同芋 スキ 不見和名集

和薄 不審也

拾芥 七種青スガ

拾芥 七種青スガ

字菟 古云及羊蹄香并

とくろり カククサ、スカクサ、カククサ、一五十三

本和主 王不留行 須加久佐一名 藻八四二 王不留行

とくろり 和傳王不留行 須加奈久佐又須加久佐 又加佐久佐西須久佐

とくろり あひ、みろり、ね、イハクスリ、いも、さくら、二十九

延木斛 スクヒコノクス子 又石斛 同上 名斛 ナスリ

コククスネ一云 イハクスリ

とくろり り、き

大五五 須久利久佐

とくろり

大四十五 須久多知乃妹 同四六四七 須久太知

とくろり

大四四 須久多 とくろり、知ヲ脱カ

とくろり

大四十八 五十七 須久知 とくろり、多ヲ脱カ

とくろり

字菴 二字須、弥 年志呂

とくろり

本和七十九 豆 須比加 和忍冬 須比可 大五廿五 須比加豆

良一 豆、忍冬、須比都良 字忍冬 須比豆良 伊字忍冬、スヒカ

藻八四三 豆、忍冬 長忍冬 須比加 都良

とくろり

大世三 須比壽地以

よのくせ よのくせり 参考スヘシ

撮壤菹 酢菜 大説文註ナリ 酢ナリ 和玉菹

よのりのくさ

暹鳩酸草 スイモノクサ 林節 同上 又酸漿草 スイモノクサ

あひき

夢窓國師集のの菜子とくくす家のをゆらぬをれやす

いさのおさくせん

あみさ ツボスミレ

万八五春野尔須美禮採尔等来師部曾野子奈都可
之美一夜宿三未 同八九倍をぬくはらちう尔のつすこれ
いさかりありわらさくハ 同十八 同十七九

枕三莖 つすこれ 拾遺 長奇 東三番大 政大臣 大原乃野(のつすこ

出つすこれありある物とせらるもみよと云

本和下三九 莖汁 須美 和莖菜 須美 名莖菜 八三 和玉莖

和傳莖 須美礼

あむのり 今サキリ

和 海菜類 紫菜 無良佐 本乃里 同 水菜類 紫苔 須無能里 名紫苔

スミリ 伊字紫苔 スミリ 長紫苔 ノリ

あむのり

林節 洲苔 水々

蘆主あむのりとりとそ人あまきまうできてあむのりとりぬま
川あまのりとりとるもまづを神いぬま

あかじ

一七五 うち川子切あらずの藤代川まことと原草々々
つとよききりしを

さこのかろし 同上所系見上

さこのくさ 同上

をけ

一三四十一 奥山の岩のとををながめをけりし白くねらひ

同七七七 シツ管 同上ナコスケ 同世九 アリマ 同四一 シラスケ

同四十八 シシマ 同同カスケ 同十二世セマス 夫木集 マロスケ

マロスケ イハコスケ コスケ ヤマスケ シホイリチシヒスケ

タマユスケ ミハコスケ マスケ シラスケ カケイイイトスケ

枕三十五 マロコ 宇茅須介兼須介 和菅 須介 名董 スケ ナ勘 スケ 菅 菊 スケ

和傳京三枝 須介乃祐加川スケ 林節 薛 スケ 莎也 ミクリ

子田中ニアリ 子田中ニアリ

く 和玉瀉又管又莎スケ

さ

和 大

名養蕪 伊字養蕪 スケ

さぎくね スキ

藏玉集 片山のつらこころうまをさうら枝あやまのり

か名養草 瓜キ 又芋花 スケ スキ ナナ 林節 蕪 スケ ナ

さつき 見上

さたみ

大五十六 須多美

さあつむしを

万十苗 よそよほし 足つやいむ紅のまらむものろよそ

とゞ 拾遺 五二

六帖

源氏 未摘花

藻八 花紅

ささき

拾遺 物名をたづね

ちせてりつちいめん

鶯のささき

世行

せり

つひ

万世八 あらひささきたるそぬもむのころのいとまみつある

芥子六帖同返 ますくとねのころあをたちもきて

のよもいなるあませりつとる又人へもすほよ生あふ

みさ芥の枝まよひから流も足さるゆや更科日記タセリ

本和下 水新 世利 和芥 萱 大世五 字草居求 及素木

世利 名芥 せり 伊字荷 せり 水荷 水芙蓉 水新仁謂正作芥 音勤

水芙蓉 渣新仁謂音 出陶景注 芥

曾

そき フホ、テ、ク、サ つほき

本和上 シホテ 飛廉 布保々天久佐

和傳 シラテ、曾、支、天久佐 一名曾々市 西名飛廉

そき スニキ

林節薄

そり給

大世六十二

そく ソクツ

そく ソクツ

本和上四十五 陸英 曾久止久 同上四十七

久 上所角及下直角及 字朔權 曾久止久

和傳朔權 曾久止久 又ソクツ 一

朔權 藤教注云此陸英之葉和名曾久止

つちひとく 参考スシ

曾久止字

和傳陸英 ソクツシ

そくどろ見上

そらーサハソラシ さえそらー

そらー

本和ト甲 薰蕪一名阿魏 曾良之大丘 曾良志延喜

内緒 清春菜科蘇羅自字 女加及猪茹 又艾 曾良自和

傳薰蕪 曾良之

そバシマソハノミ ころひま 六十八糸見エ

そバのこ 各蕎 芋 蕎麥 ソハムキ

そハうり キウリ一四四 兩糸見エ

そひま丸

和鷓豆 紫赤色者也

そひくく あやめたじ 糸参考ス可

字地榆 曾比久

そかま丸

字殺ソカマ 数日

そかきく

三百番哥合

拾遺かのいほ池 さくら たるるそのさくのさけ さくら の

いろのてこら 四季物語

良材集 そひま丸 也

そやー マノモヤシ

拾遺 高岳相如 そやー あまの 下 しん や 物

るそと有とつむしハ イヤシ俗子ワヤストあたる因ハをそとふ
るそとヤハ まの真諦とさけぬよき てりんむらあむるそと

そと かき名一五十一

和傳鬼督郵 曾止之地又乎止乎止之

そと たか

和傳蒲公草 西ソナ

そと

無題如節用集書 草部 水菩薩ノ口平 新六帖 庭家 道の
るそと そとわぬれぬむし ららちさあから たはよこと
穂井 田忠友 菩薩池伝ハ此水草ノ名テミツ
口井ガ池ヲツメテ呼尤ハ文字ツカヒモ合ヘリ 此池ニ蘭ヲ生ス
ヨリ名ツケタル新 六帖哥の詞ヲ考レハ今ノ異宣伝クム

口作ル蘭ヲイヘナリ

そと 和玉此

太行

たつひのひけ

のひひ^{五丁}糸見工

たつひ^{ワタヒ}

本和上三七^七蒟将西多々此 同下 罨

木天蓼多知多 此 医知多

たつさ

伊字鬼苞葵

たつ^よ伊^ネヨネ

本和^下四^五稻米多々此 同下 罨

以称乃与称 伊字稻米

稌米烏米糯米夕、ヨ子

たつら^ん

字草

所中及長也衆也 姓也 就也衆也本々良女

政夏要畧 六十七

衛門府風俗

夫

万三三 玉葛実からぬものハ少く振るふを長くふぶぬ木
毎二 大五寸 多方加豆良 同廿六同

たよつと

大世三三六 玉子波利

たよつと

大廿六 苗 多方須、支 同五三 多方須、紀 一名也 未須、又 布 加豆美

たよつと

大廿六丁 多末乃雄

たよつと

大五 廿五 多万豆差

たちまら

本和土 四十五 牛扁 太知末 同 四九 扁 苗 多知末 知久佐 和傳

牛扁草 太知末 知久佐 二八ヤナキ 伊字牛扁草 二八ヤナキ

牛 太知末 久佐 阿字之久佐 伊字牛扁草 二八ヤナキ

たちまら

和傳牛扁草 見上

たちまら

小大君集 万二 ありらるたちまら 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二

みて大食人ありらる 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二

わりのとまよひてみ 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二 万二

和映的 種電ニ青小氏也 各映的 万二 伊字映的 万二

たちひ イタリ

書 及正天皇 卷六 多遲花者今虎杖花也

たけ ナヨク

和竹多計

万二 四 長哥 あは山の志とるも奉用竹のよとよるこしハ云

たけのこ たのひふ

和玉笏 タケノコ 藻 八 筍

たけのこ あかし

和玉篋 又篋

たけのかし

和玉篋 竹乃加波

大五世 多介加波

たけのみ

本和上 五十六 玉英 多介乃美 伊字玉英 莖珠 多

たけのこ あかし

和玉篋

たけのこ

名筍 無節竹 和兩節間 俗云子

たけのこ あかし

字筠 干實及竹有帶也節也 和節竹中隔而不通者也

和名 竹乃不志

たけ キノタケ・クリタケ マツタケ ノコ

書廿四 皇極天皇 卷十三 倭国言須者菟田郡 人云々雲上及菟田
山便見紫菟 云々書荒 天武天皇 八年 是年紀伊国伊弉郡莫芝
草其状似菟 莖長一尺其蓋二圍云々 拾遺 物 たけ

初きのくろくろめれろくろそのひまろけ衣けらん又い
とともつてきうろくろをもち付かぶくけろぬ旅がそあるを
和菌茸多介名菌タカ 菌茸タカ

たけり

大四十七 辛三 多介豆

たけさ

大辛十 多介漢

たかひらタカラ

たかけり

和萱 太加無良
太加波良

たかひら 太けのこ

本和上十五竹笋 多加年奈 字筒笋 同息元則元ニ反笋也
太加年奈

和笋 太加無奈 和玉笋又筍 長竹笋 太カ

たふひのめかし

和篠 笋乃加波 大廿七 多加無奈加波

たのめ

本和下 廿六 太松 字松 息隆及菜名 和辛芥 多加奈名
太加奈

辛芥 太カナ 大廿六 多加大和 和玉太松 太カ 和傳松 太カ

伊字太松菜 太カ 辛芥

たらば 太のみ 太みろ 太の糸 太見エ

たらたあろくろ

大五十八 多加多万久佐

たのやき

大五十七 多加也支

たうたう

大世六八多加太天 私云高蓼多欽

たうのそらみ

大世四三三三 多可乃楚祢美

たうのや カヤ

万十四世五 可波加美能祢自路多可我夜阿也尔安夜尔左

祢五 宿氏許曾已登尔氏尔恶可 野落六帖カヤ

たうさのもち

本和上甲七 敗天公 乃多加佐 医同

たふ フジナ

本和上甲九 蒲公草 多奈一名 布知奈 大五十三布知奈名蒲公草 ナ奈

たふ ナキノ皇ナキ

伊字解 菜 水苾

たとたと のふ ワトシ・カミシヤ カミヤカラシトシ

医鬼督郵

たて タラホタテ アラタラ・タカシテ イヌタテ ミツタテ

本和下 七 蓼多多天 和蓼多多天 字蓼 カヲ及上又 大音 名蓼

タテ 伊字同 和玉同 和傳 霍菌 大夫 長蓼多タテ

万土三九 吾屋戸之穂 蓼多古幹 株生之實 成左右二君 乎志

将待六帖 を さ ふ の か も ら し よ あ ら や ら た て の か ら や 人 よ

あもむ さ ら ハ

たて

和傳芸臺 大天守

たてあぬ ある系参考ス

名藜多藍 多ヲ并 菜藍 同

伊字菜藍

和藜多藍 多天阿丹

たくもも ツクモ

和江浦草 豆久毛云

本和下五十二

江浦草 都久毛

名江浦

草 ツクモ云

林節 腹撞藻汁

ツクモ

たね

和種 太称

和玉稼 又楠

たぶ

字免蔚

たむけ くさ

夫手向草

たむけり

大六十四 廿五 多尔世利

たはふ くさ

大七十五 廿三 多波奈久佐

たはき

大六十五 廿三 多波支波 下波葉 同 辛辛 多波支 同九十三 廿六 多

波幾乃葉

たら 多 たて糸見工

字藜 太天又

たらのね

大四十四 甲 多良之称

たー くら

大五十六 一 多之美之差

たのもくち タシモ

大十四^高 多乃母乃美 様^実 同八十七^四八 多乃母久^左

たのみみ

字秀 喻受又救^又上^醜也

又^董 田^多 勅^及 正^也 此^同 一^り の

み^の と^ふ 孝^の 甲^子 行^を 子^款

たよら^し

大^三五 多子良波

た^里ち^く

大^四一^世五 多利波久

た^せり せ^り 幸^見ユ

た^うら^くき

和傳薄荷^大字^何 良^支

知行

ち

和茅智 名茅チ

ちの祿

本和上三十一 茅根 知乃祿

ちくこくち

躬恒集 物ちくこくち 花乃ちくこくち

えくまあろくちくこくち 信友按又ちくこくちのちくこくちをてきとて何の件を返す
とのおひまひよりそくちくこくちをてきとて何の件を返す
の吉田人中山美石云遠江舖知郡ニテ尋常ノ餅ニ搗合セテ食フ前知ちくこくち
麴ノ種葉餅ノ剛クテ白モサキヲ大ちくこくちニテ食フ又ニ搗フルニハ大ちくこくち
オ古ノちくこくちヲ ちくこくちノ名ヲオヒテソレヲちくこくち云テスルモ也 文政十三年二月カクイヒ
オコセリサル
ナレハ

ちのちくち

和紫参 知々乃波 本和上世 和傳 同 大五廿 知々乃波久
差延紫参 ナハ

ち、もくさ 見上

ちめくち おろつち、糸見二

ちひさきこけ こけ一幸介、糸見二

和石衣 和比佐木

ちひさき井

字蘭 知比佐

ちき、ナシヤ ニカナリ、アニキナリ

本和 早

白苎 知佐

和苎 知散

字苎

其呂及上胡麻 又高

知左

名苎 ナシヤ

高 ナシ

高 ナシ

和玉苎 ナシ

和傳苎

苎 知佐又云

又白苎 知左又安木

大拔萃 知佐乃久支

長白苎 ナシ

ちのや ヲハナ

万十六 三十一

あめふあるやさらのとよみ茅草刈りやう海

可ふくし たつも 同八三十五

同八四十二

大五 十四 知加也 一名表波奈

和玉茅 又 蔓 又 黄撮茨 芥

ヤ

ちさきえ

和傳水蕨 知左支衣

ちよくち

撮壊石髪 ナニサキ

ちね

字蒂 知奈

ちつら

名疊 ナツリ

都行

つなま

ツスタマ・ス・タマ

延意以茫 都々太末

古語拾遺以蕙子蜀椒吳桃葉云々

つー

ツー

伊字躑躅 ツー

つら

伊字黑葛 ツラ

名黑葛 ツラ 累葛 同

和傳本防已 川 安於加 良一

名則

万壺八

同共

同共

つら

和傳及己川 川 祿久佐 川 支祿久佐

つのと

つのと 参考考スヘシ

延朔藿

つゐきくち つゐきくち 二見エ

つちたらし つちたらし 二見エ

つちけり つちけり 二見エ

藻八甲 藻八甲 二見エ

つちたけ

本和 下 木草 都知多介 伊字地菌

つちも つちも 二見エ

本和 上 五 王孫 波利一名 和 王孫 波利久佐一

以灼又豆 知波利 藻八甲 土針 字 藥

万七 万七 三 少名とよき 少名とよき 二見エ

らゆふ

つちくち つちくち 二見エ

伊字 藿 藿 藿 名 藿 藿 二見エ

つちふの つちふの 二見エ

大三 大三 二見エ

つちう つちう 二見エ

字 杜 桂 豆知有利

つちひ つちひ 二見エ

延朔藿

つちとち

和傳 天麻 土知之祿又

つ つ 二見エ

本和 上 七 意 苡子 都之末 和

夕々 讀ッシヌマ 五三 郁之多末

つーを

本和下 五三 鹿毛菜

つらた子 つた子 糸見工

つらひらく所

本和上 七 薪冥子 都波比 考之

つらひらく所 三カチ アラカラシ

本和下 三五 若菜 都波比 良久 佐 和傳 若菜 安於加良之 西 加太 都波比

良又 佐

つらきあぬ ありぬ 糸参考スヘシ

和木藍 阿波岐 伊字木藍 平ノ

つらぬ ちちやノ糸参考スヘシ

万八世 下三首六帖 けけらたぬわがてしをまのよもろのいぬける

つらぬそめいしこえや色 同 其わう君よけ者ありたま ぬらつしなとくとりやせま 下 同 九つしけぬあまがな のつらすこれソ方さうらわこみくを 枕三 世五

夫

林節茅又蔓 ツバナ

つらみのソシ 祢 ホロシ

本和上 七 白莫 保呂之一名都 又美乃以此祢 和 白英 保呂之一云 豆久 和傳

同字 白英 保呂志草 又豆具 名 白莫 ホロシ一云ツ

つくも ちくもしノ糸入

つぐくー

源氏 源氏 日かむつくり けうきこまいし 元真集 物名 雲

色取櫻目伴移愛色登備之苦沙土御門院御集つきくき
の花よすし我衣志けき涙いあまききし色小大君集世六
つゆらき源氏横笛あらかしてこきききよるらたむ
古今

本和下鴨頭草 都岐久佐 和鴨頭草 都岐久佐 字蔭 豆支久

伊字鴨頭草 ツクサ 名鴨頭草 ツクサ 藻八千露草

又三 苜蓿 林節鴨頭草 ツクサ

つき

名慈 キナナラ

つまめ ウツメ

本和上三 蛇全 都未女 廣庭言ふつまめ公字都未女の字を畧きたら

つまみのり

伊字撮苔

つよ

万九十三 都万麻 トアリ 樹名 新六 題つき 本之磯ニヨリ

夫妻摩

つゆり ツクサ

つゆり

本和下呼越氏 都乃 伊字越氏 ツクサ

つゆり

本和下 甲 鹿角菜 都乃 和鹿角菜 豆乃 名鹿角菜 ツクサ

マタ 海菜 式膳 角侯 鹿角菜一斛九斗海松角侯名世四トアリ鹿角菜

つちば 又ハリ・又ハリクサ

重復 本和上 世三 王孫 奴波利 一名 和王孫 知波利 久佐 一云 豆

つむらみ 実カ ツムラクサ・イシクリ。
タルツフラ

つむららき

大五三十三 豆武良美

伍

同五二十七 豆武良久

つらのこ

大七十五十二 都良乃美

つらあき

字蕪 豆良奈久佐

つらくか

字蕪

つらさき

字蕪 同田歴又茶
豆利生字

つむららき

六帖つれあきとー 残魚のまなみらんかまの池は
生あきふはれあきの字

つあき

つあき 糸三見工

ついくち 同上

天行

てはきふと

大 天波支南度

てまは花

林節練花

止行

とろき アマツラ

本和上ニ千歳薬汁阿未都良一名苻菴ツカトニキ上

トキキ 和傳諸魁トキキ又イトキキ

とりのあーくトリアニオニチウカクサ 長升麻度利之阿

字升麻鳥足草又云和傳升麻トリアニクサ西止利乃

字多加久佐阿之久佐止利乃祢久佐

とりの祢久佐同上

とろかき

大三十六 止利加幾

とろさかのりトサカリ

和鷄冠菜 土屋佐加乃里 名鳥坂苔 サカ 又鷄冠菜 式文用鳥坂苔

とりのこたけ

類仕鷄葺

とりのあふいさウ

とろろ

亦和下世 薺 止古呂 和野老 字薺 古諧及薺昔次
又地 邊地及山薺 二字 名薺 止古呂 明子 止古呂
和玉薺 又 若 止古呂 長薺 止古呂 野老
うろろ物語 拾遺

とろろ ナテシヨ・カラナテシヨ
ヤマトナテシヨ

六帖あり 一 ふうけくの多をそめく 春秋をよめての
とろろは 又 かきくとき およむれいもあつと 口し
なをれと 極くくそ見め 古今 夏 ちりやと ともを年とそれ
り極くく 姉をふめく 床友のを 拾遺 夏 家子ささく
侍をるあて 一 こと人のうろつそ 一 いろ 伊勢 一 いろ 伊勢
のと 我やとの大和様を 止古呂 一 さ衣一十五 万八十九
万八廿 同廿 同廿八 同廿四

古今頭昭の 瞿麥をハ鍾愛抽衆草故曰璣子艷色契千年
故曰常夏と家経於臣の和哥の序に書けり 万七七たしよふらた
る雪の登古奈都
大鏡裏書滌殿大后少時容姿艷麗璣瞿麥御取美艷後
改瞿麥稱常夏花 蓋避諱也 滌殿后文徳天皇の皇后
清和天皇の妃

大共六十一 苦奈豆和醒麥一名大蘭 奈天之古一 名大蘭
云止古奈豆
トコナツ 石竹 又 遠麥 日 和傳醒麥 ナチシエ ナチシエ又 藻八十二 醒

とくたみ
大八七四十八 度久太美

とくたみ
枕三廿五
和傳木賊 久佐

とみくさ

古本神樂
暮風俗荒田 安良太仁於不留止見久佐乃波奈大仁川
見禮天見也戸未井良年云々相摸集 松根権現又存於百首の中題さいたら

令三土

深山ありとみ草花もまつまにとてあさきの神をよつて
詞花 雜家徑朝臣 後成卿九権中酒言陸房 そのそらよもいと花
のそらと花のむ 十賀よ
よむ花をよきてあか若林のとみ草のそら
信友按よ家徑朝臣の哥よこれに依後方新よそら
とみ草 あらさる糸見之
とみ草 はら参考ス

和王蒸

とぶたけ

類往柀茸

とまよ

字長 又 葆

奈行

な

万七此岳兩菜瑠璃見

万六世いさ子とよかしのうまの神ふれお菜

つらとん 名菜ナヒラ 聖若又荇又蕨又蕨又蕨又

菜又蕨林節菜ナ

ふみき 名并

字漏蘆 奈美久佐

なまの 名并

字胡 奈鳥及大蒜 本和上 高 澤 渥 奈末為一名 和鳥芋 敬

リイ本奈 名芋 花ス、キ、瓜キ、 苜蓿 此 十一并 澤 旁 十一并

下并 毛夕刀

ふき江のき

名蔓荆

ハフハヒ・大フエキ
オトロサトリ

小荆

其

ふて

トコナツ・カラナテシコ
ヤマトナテシラ

万八十九

吾屋外尔蔣之盟
麥何時毛花尔咲
奈武名蘇経

乍見武

本和上三九

瞿麥 奈天之古
字瞿麥 奈氏之古
名大蘭又石

竹又遠麥

ナテシユ又
藤八十三 瞿麥

万三四三

石竹之そのをみもの
ふき

ぬりか

あもし

本和上三

葉草 奈毛和
字菰 蔓注及烏窠 菰
莖奈毛美

萐葦 萐葦 三十字
奈毛弥
耳同 羊負菜 十毛之

萐實 奈毛弥
名菜 十毛之、カラムシ
長菜 耳實 奈毛三
大五手

徒然上九十七段ノナモシ

あのみ

藻八評 常忍草 あのみ

あのみ

和莫鳴菜 奈乃里曾
名莫鳴菜 又神馬 藻

書三十九 奈天皇十年 春三月癸卯朔丙午 幸於茅渟宮

衣通即姬歌之白等 虚辭 陪近 枳弥母阿門 柳毛 異舍 儼

等利宇 弥能波 摩毛能 奈 留等 枳等 枳 弘時 天皇 謂衣

通郎 姬曰 歌不可 聆他人 皇后 聞必 大恨 故時人 号 濱藻

謂奈乃利曹毛也云々万四 十六長哥 如磯のくくふらふ
初き志づれいる英告我をくわもりよま云々同世みまご
ぬる破るふりする名来漢の云々

なつりなと見上

ふぢ ヨキ・クナキ
空コナキ・ウキナキ

本和下 芫 薺菜 奈岐 和水葱一名薺菜 奈木 字荳薺 奈支

長薺菜 奈支 和傳薺草 奈支 名葱 ヒキナキ・ニラ 水葱 ナ

藪 ナキ 医薺菜 奈支

万十六、ひし不能いふるきそそ朝もうもこれふあそそ

水葱のつらめ

なつりな おきぬきナ余見工

あつりな び

和傳龍葵

あかじ

和玉芋

あめみら オホミラ・ミラ

字薺 不或及奈
女美良

あめさく き

運滑薄

林節滑耳

類往滑養

あめぬら 又ナハ
ウキ又ナハ

字薺 奈女奴
奈波

あつり アマナツナ

本和下 三ナ 薺 奈都奈

ナ 名薺 ナ

字薺 芫 鹿

高 ヨモキ・カラヨモキ
オハキ・ツツナ

豆奈

和玉芫 又 茶 又 薺

ナミ

和玉苧

ナミ

藻八四十三 菓耳

ナミ

和傳 葫蘆 奈呂之

ナミ

万土里 于糸のひきつ縄のうらちをひきかきしぬまおも

何ゆるい糸

ナミ

つむろ糸見工

ナミ

フサハシカ

和蜀椒

奈留波之
加美一名布佐波之加美

長蜀椒

布佐波之
加美

大五

奈留

奈留

波自加美同世五三 奈留波豆加美

余行

にこた かのうらふを見え

にこたふ

延丹参

にこた

大六十八里 亦古久差万在 古 秋風亦奈妣久可波備能本

故具五能尔古餘可尔之母於母保申流香母 同古 幸阿

一 かりのいね根の初ろのよこまれを妻をぬや紐とわたり人同

土四十九 蘆垣之中之似兒草尔故余漢我共咲而為人尔野

知名六帖 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた

上よまの 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた

にかる 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた 乃こた

にきりく糸

字華 糸波久糸

にちやあき

なちあちを糸見ユ

にちくく

そく糸見ユ

に口さく

名芝 口サク

近信按にちくく

にきめ

万共共 つめき山のをめく人のあけきり

ひくまき丸

名海藻ニキノ 長海藻ニキノ

にきりく

類往握草

にひり けしと糸見ユ

にひりく 糸アサ

本和上 四品 蘭茹 祿阿佐美一名 和同名 糸アサニ云 藻八

四品 蘭茹 糸比万久佐 和傳蘭茹 祿安佐美西

にちくく 糸カツシ

本和上 苜苮 糸都一名 名苜苮 糸カツシ 一云ラ

延苜苮 糸ツ 字苜苮

にら 糸アサニラ 糸ニラ 糸ヒル

拾芥 六九苮 糸各苮 糸アサニラ 苮ヒル 糸ソ

苮 糸アサニラ 糸ヒル 糸ニラ 糸ヒル 長苮 糸和玉苮 又 苮又苮

にらきスシ

和菹尔良木
菜鄭也 字菹尔良支 名菹ニラノ、菹通菹字ツキク
セウ・ニラノ
瓜ニラノ

にらのをぬ

名著ニラノナニラノ

にらのこ

和玉菁

ほんま

諸食禁好集三席 葱蓐

にところろ

とろろ系参考スヘシ

藻ハ四十二 草解

にのからひ

廿藻ハ三 狗脊

にの 参考スヘシ

字表

奴行

ぬみくららま

えむひくらりノ糸見エ

ぬみくら

はやめノ糸見エ

ぬらつき

あつちノ糸見エ

ぬりこ

本和下辛五

零餘子

長零餘子ヌカ

ぬらえ

ぬえノ糸見エ

ぬらりくら子ナリ

薄八四十三

王孫ぬらりノ糸和傳王孫

乃波利西奴波利久佐

ぬむのみ

本和上聖

鬼白乃波美和傳同

ぬらこ

ヌヌ十八・ウキヌ十八
ナメヌ十八

ねぬを 又十八・ウキ又十八

大帖 ねぬを ねぬの底より生るねぬをよねぬをいたて
しるふといふ又 志をねぬをよぬのねぬをい
くまにその ねぬをいぬ

ねぬ

林節根芋

ねぬ

拾芥六九丁 慈葱子キ僧尼令ハ慈葱ネキ

ねぬ

およのやうに条見エ

ねぬ

万苗共六 芝つきの ねぬをいぬ

ねぬ

藻八五

ねぬ

言帖 ねぬ ねぬをいぬ

これ ねぬをいぬ

ねぬ

ねぬ

延黄芪

ねぬ

ねぬ

ねぬ

林節根芋

ねぬ

類徒胤子 子スラ

ねぬ

和玉窮

乃行

のえ

本和下 芑 假蘇 乃衣

のえ いぬえ 糸見玉

のらま

和野豆 乃良末女

のらまき 志ろまき 糸見玉

のせり

本和上 芑 前胡 宇多奈一名 藻 八十三 前胡のせり

のせり

本和上 芑 芑 胡 乃世利一名 和傳 同 名 芑 胡 八十三 藻 八

世 芑 胡 比 里 乃 世 利 共

のー 志とよノ糸見エ

のもも ぬもろノ糸見エ

のあみ かし五十八糸見エ

のあひ 同上

のかも

本和上 爵床 医心方和名 乃加々毛 和傳爵床 乃加無加

のせうのら 乃ウセウカツラ、ノウセウ、ニカヤキ、ヤカヤキ

のせうわら

のせう

和紫葳 乃辛一 医家千字文 加豆良

似陵曹 乃ウセウ 伊字ノウセウ 本和上 辛八 紫葳 未加也

名陵苔 乃カヤキ 農セウ 一云 陵苔ニカヤキ

のまめ

伊字 豌ノメ 新韻 萱ノメ 野豆 同 踰 同 豌 同 名 豌 豆

鳥官ノ 萱カカメ 野豆 和玉菽

のらま のせう参考スヘシ

比滯八甲ニ 莖胡

のわー

大五ニ 乃甫之

のまろり

大世六七丁 乃須久利

のゆりひ

大五十五丁 乃母利比

のゆけ

大六十四共 乃母介

のさらし

大六十六 乃差良之

のさらし 花カキ

字高茶 乃曾良自

又板葵 乃曾良自一云
佐留加支

のえむ

大六十四五 乃依比

のけ

和玉襪 又福又嶺

のぎ

曾丹集七月中 我まのら中での稱ものぎを居くひりく徳き
きゆまけじし

字芒乃支 和玉禾 又粘又襪又接又靴又靴 又靴 己上ノ
名世ハハネ

のぎさじ

和玉紗 又韻

のたち ろとノ糸ニ見ユ

のつち あやめたむ参考スヘシ

藻八甲三 地榆

のアミ ミソリ

名苔 ヌケノリ・ミソリ

和玉セロリ

の

和玉篋比



